

各地の福祉現場の日常の出来事や活動を紹介していきます。投稿募集中。  
[toukou@fukushishimbun.co.jp](mailto:toukou@fukushishimbun.co.jp)

「子供」を内に「車」を運転させ、その後が「波」が津波に見えて、表は(小人アーチ)ジジ

「クオレ、ニシキを起用することで、心野寺美厚代懸念されていたが、心二つの事業所配は無用だった。小原さんは「周囲と活動場所をのコニコニケーションが難民も、その子に合った方が「難民」の紹介で法たけに頼らなければうつ病から香付取り組どきました。新城オレンされ機会につけたのも言えます」と話す。

A group of people are working together to paint a large mural on the side of a building. The mural features a repeating pattern of pink, blue, and white shapes. One person in a white shirt and dark pants is crouching down, while others are standing or leaning over the edge of the building's roof to reach higher areas. A ladder and some painting supplies are visible at the bottom left.

本吉糸ひながらたじ  
したじ」と色塗り  
借りて乗り越えていた  
いが、多くの人の力を  
んは「今はどちらも苦し  
理事長になれる佐藤さ  
転資金の確保だ。法人  
予定。以下の課題は運  
に基づく事業を始める  
P.O法人が誕生し、法  
いとは別団体としてN  
今秋にはつながりた  
じのは終わった。



「元の暮らし」へ「発達障害児

意味の「障書者福祉」をたぐりする自由にはやや趣を異にする閉症の男児の姿もある。本来は市内に「アーヴィングホール」を作った。撮影は震災から1年半後。いわゆるラジオ時代だ。林会長は「普段はおもむくとておじさんですが、震災のことは少しあつて、居場所作りが加速しました。南三陸町と残っています」と話す。

東新城オレジン今年6月に開設したどもたちの居場所作り始め、革製品を作つて販売する以便資金作りに励んだ。6月には動画投稿サイト「エコチャーブ」に映像を掲載。震災の影響が障害のある子どもたちに頭著に表れています。しかし、本吉町はあれり目を向けられはじめていた。吉田はあれりせ

通込んでます  
居場所作り

宮城県気仙沼市



思い思いに過ごす子どもたち（東新城オレジシ）